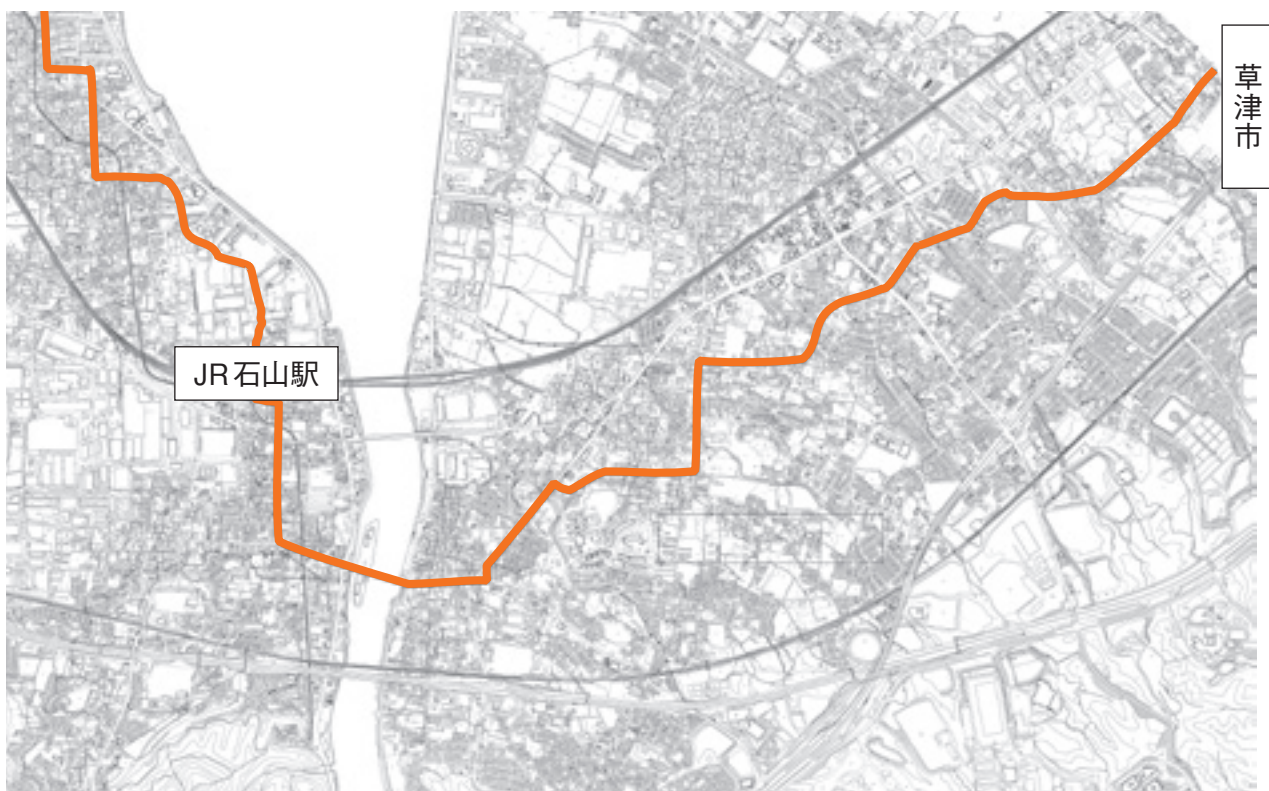


平成26年度
対象地域に
ついて

今回の指定は大津市と草津市が市域を越えて景観形成を図るよう、平成25年11月に、「びわこ大津草津景観宣言」と名付けた共同宣言の調印を行ったことから、両市を結ぶ旧東海道を活用した景観連携を図るため、歴史的なまちなみを形成する屋外広告物を両市がそれぞれ表彰するものであり、大津市においては、JR石山駅から草津市との行政界までの旧東海道沿道(沿道から半径500m圏内を含む)を対象地域としました。

— 旧東海道



びわこ大津草津景観宣言

琵琶湖南岸の大津と草津は隣どうし、「いそがばまわれ」のことわざを生んだ旧東海道と宿場町などの歴史文化、そして「近江八景」に象徴される景観でつながっています。

両市はともに琵琶湖のさざなみをながめ、四季や一日の移ろいが美しく映えるやまなみや田園など、互いに眺望しあう関係にあります。それぞれの市民が潤いと安らぎのある自然の中で生活をいとなみ、歴史あるまちなみに親しみ、にぎわいのある都市の景観を築いています。

両市の市民が手を結ぶことで、良好な景観資産を維持し、新たに創出した美しい景観ともども、次世代へ手わたすことができます。

わたしたちは、大津市民・草津市民が互いに協力し、価値の高い景観の保全と新たな創造に取り組み、いっそう愛着と魅力あるものとして未来につなげていくことを、共同でここに宣言します。

平成25年11月2日

大津市長 越直美

草津市長 橋川 渉



容輝湯



- 広告物の種類：ひさし看板
- 大 き さ：縦55cm × 横140cm（概寸）
- 製 作 年 代：昭和9年頃（1934年頃）
- 所 在 地：大津市栄町17 - 12
- 指 定 年 月 日：平成26年11月29日
- 広 告 主：宮前 昭
- 店 名：容輝湯（ようきゆう）



容輝湯は石山商店街から少し入ったところにある銭湯である。市内において銭湯は少なくなったが、現在でも開業時間前には開業を待つ人もいて、地域の人に愛された公衆浴場である。

正面の大きな木製看板は創業時より掲げられているものである。ケヤキの一枚板で出来ており、「かまぼこ彫り」という技法にて、「容輝温泉」と丁寧に彫られている。唐破風屋根の軒下に掲げられた看板はいっそう建物の風格を感じさせるものとなっており、町並みにとけ込む存在となっている。





油清商店



- 広告物の種類：突出広告物
- 大 き さ：縦50cm×横80cm（概寸）
- 製 作 年 代：昭和44年頃（1969年頃）
- 所 在 地：大津市唐橋町17-4
- 指 定 年 月 日：平成26年11月29日
- 広 告 主：松村 安佐子
- 店 名：あぶらせ 油清商店



創業は文化7年(1810年)。東海道沿道、瀬田の唐橋西詰の地において、創業以来引き続き油を販売している。電気のない時代において、菜種油は灯火の燃料として利用され栄えました。

軒先に吊り下げられた突出広告の形をとる木製看板は現在の店主が自ら作成したものである。文字の色は建物と同じ弁柄色で着色されており、「油」の一文字のシンプルな看板であるが、町家建築と調和した、存在感のある建物のアクセントとなっていると感じられ、旧東海道の面影を残していると言えるでしょう。





にしよ呉服店



①



②

- 広告物の種類：ひさし看板
- 大 き さ：①縦100cm×横390cm
(概寸) ②縦80cm×横310cm
- 製 作 年 代：①昭和4年頃(1929年頃)
②平成元年(1989年)
- 所 在 地：大津市瀬田二丁目2-1
- 指 定 年 月 日：平成26年11月29日
- 広 告 主：(株)にしよ 代表取締役 西澤 和馬
- 店 名：にしよ呉服店



明治6年に西與呉服店として創業し、明治40年に現在の唐橋東詰に店を構えている。

正面の入り口の軒上に掲げられた木製のひさし看板は「西與呉服店」と記されている。文字は金箔で施されており、今もなお美しい姿を保持している。

片方の入り口の軒上にも「にしよ」と掘り込まれた木製のひさし看板が掲げられている。双方共にケヤキの一枚板で出来ており、銅葺きの大きなひさしが看板を守っており、「瀬田の唐橋」という交通の要衝に適した威厳ある看板である。



きらッとおおつ景観広告賞

大津市では、屋外広告物を景観形成の大きな要素として扱い、まちの景観づくりの方針や周辺環境に調和した屋外広告物の掲出による、景観の保全と形成を進めています。そこで、先導的な役割を担う良好な広告物を選定、顕彰することで、「良好な広告物による良好な景観づくり」を目指したいと考え、まちなみに調和した優れたデザインの広告物を選考のうえ「きらッとおおつ景観広告賞」として表彰しております。

これまでの受賞

平成22年度に中心市街地である大津駅前から浜大津にかけての一带(中心市街地活性化基本計画区域)を対象として以下の5点を選考しました。

■突出広告物部門



和風アンティークカフェ
喜一郎

■のれん・ちょうちん部門



大津 魚忠

■ひさし看板部門



藤屋内匠

■壁面広告物部門



ふゅーちゃ

■きらッとお賞



柴山商店

平成26年度受賞作品

■きらッとお賞

でんや
神戸屋洋服店

審査基準

大津市屋外広告物条例に適合する屋外広告物のうち、街なみと調和している優れたデザインや良好な景観を形成しているもの。

対象地域

今回の選考は大津市と草津市が市域を越えて景観形成を図るよう、平成25年11月に「びわこ大津草津景観宣言」と名付けた共同宣言の調印を行ったことから、両市の景観連携を図るため、両市をつなぐ旧東海道を対象として、両市それぞれ2地域、合計4箇所を対象として合同で選考を行いました。

大津市においては、旧東海道沿道を含むJR石山駅周辺及びJR瀬田駅周辺の2つを対象地域としました。

選考経過

■平成26年10月4日(土)

大津市と草津市が合同で学生ワークショップによる選考会を開催。成安造形大学と立命館大学の学生により、両市の優良屋外広告物の調査を行い、対象地域の中で最もデザインの優れた広告物を大学生の目線で選出し、大津市においては「きらッとお賞」として選考しました。

■ 選考のもよう

フィールドワーク(現地調査)



各グループにて候補を発表



ワークショップ(各グループにて候補を選出)



■ 参加された皆さん



ワークショップへの協力

石川亮(美術家 成安造形大学附属近江学研究所
研究員)

山崎正史(立命館大学工学部特任教授)

西岡功一(滋賀県広告美術協同組合理事長)

表彰式およびパネル展示

■ 表彰式 (草津市と合同にて開催)

平成26年11月29日(土)

場所 草津市役所



■ パネル展示

平成26年12月12日(金) ~ 12月19日(金)

場所 大津市役所市民ギャラリー





でんや



大学生によるワークショップを開催し、実際にまちを歩いて、デザインの光る広告物を探し出し、「きらッと賞」として学生たちが選考した作品です。

2枚のひさし看板は、いずれも木製で縁は銅となっています。看板の文字はかなで表記された「でんや」とさりげなく英字で表記された「denya」の組み合わせとなっており、街の顔である駅前において、落ち着いた趣きのある建物にマッチした看板となっています。

●所在地：大津市栗津町4-11

●広告主：和田 泰始





神戸屋洋服店



大学生によるワークショップを開催し、実際にまちを歩いて、デザインの光る広告物を探し出し、「きらッと賞」として学生たちが選考した作品です。

レンガ造りの壁の上に黒く光沢のある石板に店名が彫り込まれている。看板は小さく一見控えめだが、周囲の民家にも馴染んでいて十分存在感のある広告物といえるでしょう。

●所在地：大津市大萱一丁目1-16

●広告主：狩野 利武





発行／大津市都市計画部都市計画課

〒520-8575 大津市御陵町3番1号

Tel (077) 528-2770 Fax (077) 527-1028

発行日／平成27年2月